



令和4年11月30日
国土交通省中部地方整備局
名古屋国道事務所

愛知県の交通安全対策の推進に向けた会議を開催します ～道路安全診断対象箇所の対策内容等について議論～

国土交通省名古屋国道事務所では、愛知県警や関係する道路管理者と協力して道路交通安全対策を推進しています。その一環として、関係機関が一体となり主要施策の検討や実施・評価について情報共有を図る『愛知県道路交通環境安全推進連絡会議・アドバイザー等会議』を開催します。

今回は、令和4年10月3日（月）に実施した西之川交差点等の道路安全診断（合同現地地点検）を踏まえた対策内容等について議論します。

※道路安全診断の概要

道路交通安全対策において、対策案の計画検討段階から道路管理者と警察が連携したところに専門家が技術的アドバイスを行うことで、より効果的な対策の実施につなげる仕組み。

- 日時 令和4年12月7日（水） 13:00～15:00
- 場所 名古屋国道事務所 3階会議室（名古屋市瑞穂区鍵田町2-30）
- 内容 道路安全診断対象箇所の対策内容等
- 取材
 - ・問い合わせ先に電話連絡にて取材登録をお願いします。
 - ・本会議の撮影および傍聴は、会議冒頭の挨拶まで（頭取り）とさせていただきます。
 - ・ご質問等につきましては、議事終了後に対応させていただきます。
- 資料
 - 資料1 議事次第（予定）
 - 資料2 委員・アドバイザー等名簿
 - 資料3 令和4年10月3日（月）道路安全診断実施の様子

配布先

中部地方整備局記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局

名古屋国道事務所 副 所 長 おくで かつ 奥出 克 TEL: 052-853-7327

交通対策課長 なかむら ともかず 中村 智和 mail: cbr-na-kouta@mlit.go.jp

〒467-0833 名古屋市瑞穂区鍵田町2丁目30番地 名古屋国道事務所 交通対策課



令和4年度 愛知県道路交通環境安全推進連絡会議 ・アドバイザー等会議

日時：令和4年12月7日（水）13：00～15：00

場所：名古屋国道事務所 3階 会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 出席者紹介

3. 議長挨拶

4. 議 事

(1) R4年下半期・11月末時点における死亡事故発生状況

(2) 道路安全診断の結果について

(3) 名古屋市内における通学路安全対策

(4) 事故ゼロプランの取組方針について

1. 国道23号名豊道路の事故・

交通規制発生状況と対策方針案について

2. 対策効果の検証に関する中間報告

・対策メニューの効果に関する

統計分析と仮説の検証方針（中間報告）

(5) その他について

・中汐田交差点の対策状況（左折減速帯等）

・NEXCO 中日本における減速ベルトの取組

5. 閉 会

(敬称略)

令和4年度 愛知県道路交通環境安全推進連絡会議・アドバイザー等会議
会議 参加者名簿

委員

所 属 機 関	役 職	会議内役職
国土交通省 名古屋国道事務所	所長	議長
愛知県警本部 交通総務課	課長	
愛知県警本部 交通規制課	課長	
愛知県 防災安全局 県民安全課	課長	
愛知県 建設局 道路維持課	課長	
名古屋市 スポーツ市民局 市民生活部 地域安全推進課	課長	
名古屋市 緑政土木局 路政部 道路維持課	課長	
名古屋市 緑政土木局 路政部 自転車利用課	主幹	
名古屋高速道路公社 交通管理部 交通管理課	課長	
愛知県道路公社 事業部 事業課	課長	
中日本高速道路(株)名古屋支社 保全・サービス事業部 交通技術課	課長	

アドバイザー(学識経験者)

専 攻 等	所 属 等	氏 名
交通工学	名古屋大学大学院 准教授	井料 美帆
交通工学	豊田工業高等専門学校 名誉教授	荻野 弘
交通心理学	高崎経済大学 名誉教授	岸田 孝弥
交通工学	名古屋工業大学大学院 教授	藤田 素弘
交通評論家		矢橋 昇

道路利用者関連団体の代表等

関 連 団 体
(一財)愛知県交通安全協会
(一社)日本自動車連盟
(一社)愛知県トラック協会
名古屋タクシー協会
(公社)愛知県バス協会

道路の診断員とともに道路安全診断(合同現地点検)を実施しました

令和4年10月3日(月)に愛知県道路交通環境安全推進連絡会議・アドバイザー等会議メンバー(学識経験者、愛知県警、関係する道路管理者)により道路安全診断(現地点検)を実施しました。
 今後は、現地点検で頂いた意見をもとに、対策内容のとりまとめ会議を実施し、効果的な対策を進めて参ります。

■実施場所:国道302号 西之川交差点

※道路安全診断: 道路交通安全対策において、対策案の計画検討段階から道路管理者と警察が連携したところに専門家が技術的アドバイスを行うことで、より効果的な対策の実施につなげる仕組み
 <記者発表資料(令和4年9月28日)も合わせてご覧下さい>

- 参加者(診断員)**
- 専門家(学識経験者等)
 - 名古屋大学大学院 准教授 井料 美帆 先生
 - 豊田工業高等専門学校 名誉教授 荻野 弘 先生
 - 高崎経済大学 名誉教授 岸田 孝弥 先生
 - 名古屋工業大学大学院 教授 藤田 素弘 先生
 - 愛知県警察
 - 関係する道路管理者 愛知県 / 名古屋高速道路公社

点検の様子



診断員から頂いた意見

至 津島

至 名古屋駅

至 清洲JCT

西之川交差点

地図: 地理院タイル

- 隅切半径が大きく左折時の速度が高くなりやすい。コンパクト化等の対策が必要ではないか。
- 右折待ち位置が消えており停止位置が不明確のため、補修が必要。
- 自転車の交通量が多く、事故も発生している。注意喚起等の対策が必要ではないか。
- 高架下は信号が小さく見え認知しづらいため、速度が高くなりやすいのではないか。

道路安全診断のスケジュール

